



広報

まつだい18

2003

No. 525

平成15年8月15日

室野城川ダム公園

「しぶみ」の小径 句碑建立

しぶみ俳句会結成50年を記念して、室野城川ダム公園に句碑が建てられた。城川のはとりの小高い丘の中央に、会の結成当初、献身的に会員の指導にあたられた故春山他石さんの顕彰句碑が建立され、それを見守るようにしぶみ俳句会の会員など17名の句碑が並ぶ。

もも
いよ
ふ
川
と
夜
に
更
け
易
く
他
石



8月2日の句碑建立記念式典に参列した、しぶみ俳句会員と関係者（中央が春山他石さんの顕彰句碑）

主な内容

- 大地の芸術祭「真実のリア王」ほか…②～③
- 松代商店街活性化プロジェクト…④～⑤
- かまぼこ型倉庫／越後田舎体験ほか…⑥～⑦
- 十日町広域圏合併任意協議会…⑧～⑨
- 東京発／松代の自然／交流ひろば…⑩～⑪
- 住基ネットサービス／スポーツほか…⑫～⑬
- 文芸／お知らせ／町の行事予定ほか…⑭～⑮

■松代町役場

〒942-1592 新潟県東頸城郡松代町大字松代3252番地1

TEL 02559-7-2220

FAX 02559-7-2526・7-2300

URL 松代町 <http://www.town.matsudai.niigata.jp/>

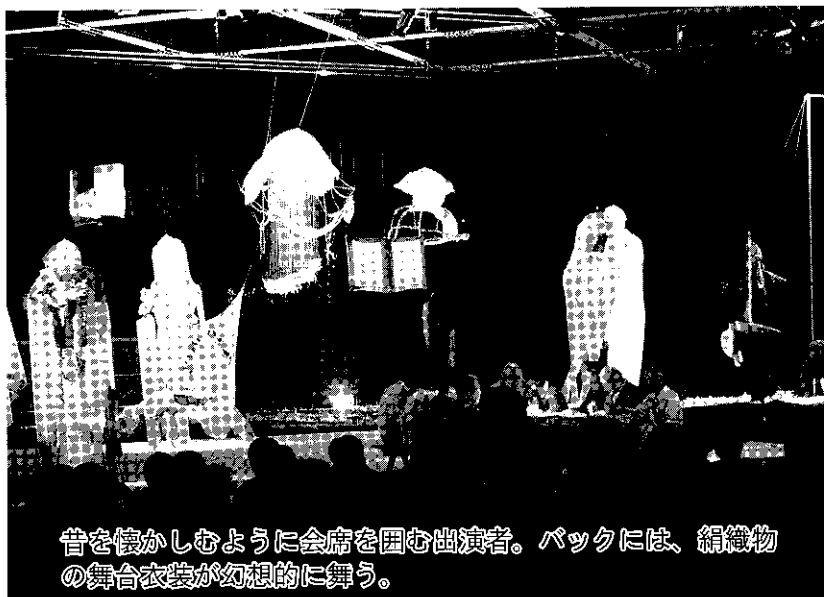
松代町観光協会 <http://www.echigo-matsudai.com/>

大地の芸術祭

「越後妻有版・真実のリア王」



松代町から出演された皆さん。(前列右から、中村元平さん、高橋カヤさん(昴平)、菅井タツエさん(芋島)、町本和加奈さん(こへび隊)。後列右から高橋キヨエさん(昴平)、高橋吉治さん(昴平)、C・バステアンスさん(作家)、富澤恭松さん)



昔を懐かしむように会席を囲む出演者。バックには、絹織物の舞台衣装が幻想的に舞う。

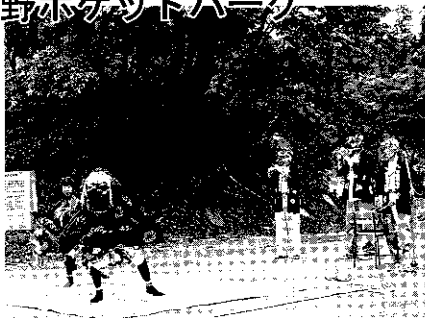
この「越後妻有版・真実のリア王」は、17世紀初めに書かれたシェークスピアの演劇「リア王」を、オランダの作家クリスティアン・バステアンスさんが現代版として、この地域の老人たちの境涯に置き換え翻案したものです。

公演は7月19日の大地の芸術祭開会前夜祭と21日の二回上演され、会場の文化村センターには、延べ約1,000人の観客でうめつくされました。

「二人だつて必要ですか」シェークスピアの「リア王」にある、いくつかの台詞と老人たちから収録した思ひ出話や現在抱える問題を重ねながら流す演出が、リアルに妻有・頸城の地域像を映し出した作品でした。出演者は、近隣町村の老人10名で、松代町からは富澤恭松さん(松代)はじめ6名がステージに立ちました。その一人中村元平さん(松代)は「心配していましたが、いい思い出になりました」と緊張も解けた面持ちで記者の取材に答えていました。

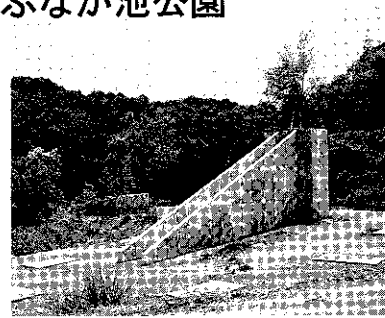
アート公園の完成を祝う

室野ポケットパーク



室野子供神楽による「悪魔払」で、公園の完成を祝う。

蒲生ぶなが池公園



公園の完成を記念して、集落の皆さんが一人一株の野草を植え、公園に彩りを添えた。

自然との調和の中に
人々が集う憩いの場

蒲生
室野



あいにくの雨で会場を集落センターに移したが、約120人の皆さんが完成を祝った



竣工式に集まった室野集落の皆さん

わわ 沸く湧く ワクワク！ 芸術祭

作品を出展する作家のサポートからイベントの企画・広報、はたまたショップやレストランの運営まで芸術祭のボランティアスタッフとして幅広く活動を繰り広げるこへび隊。メンバーは、大学生や作家を目指す人が多く登録者数は現在約600名。そのうち約80名が松代町で活動しています。

町内にある約80点にもおよぶ作品制作の陰には、隊員たちの地道な努力の跡が見られます。

渋海川のほとり「こへびステーション」にお立ち寄りください。爽やかな川風に元氣な彼等の芸術祭の案内が受けられます。



文化村センター南口にあるこへびステーション

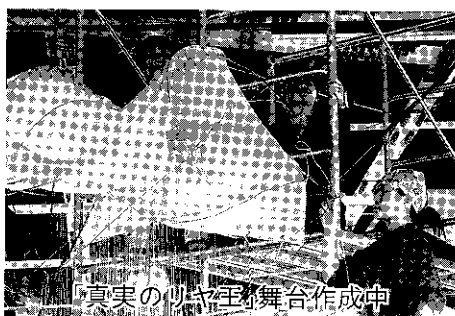
大地の芸術祭を支える

こへび隊

こへび隊の活躍現場から



海外の作家との打ち合わせ



『真実のりや王』舞合作成中



『創作の庭』地域の人と花植え作業



文化村センターで笑顔の窓口



「TAUE PROJECT」



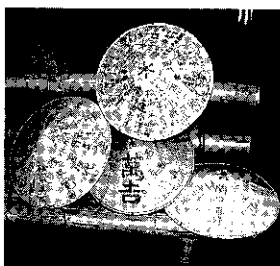
『儀明』劇場」力仕事もがんばります



関谷さん宅に集まるこへび隊の皆さん
(写真中央が関谷忠さん)

こへびを支える地域の和

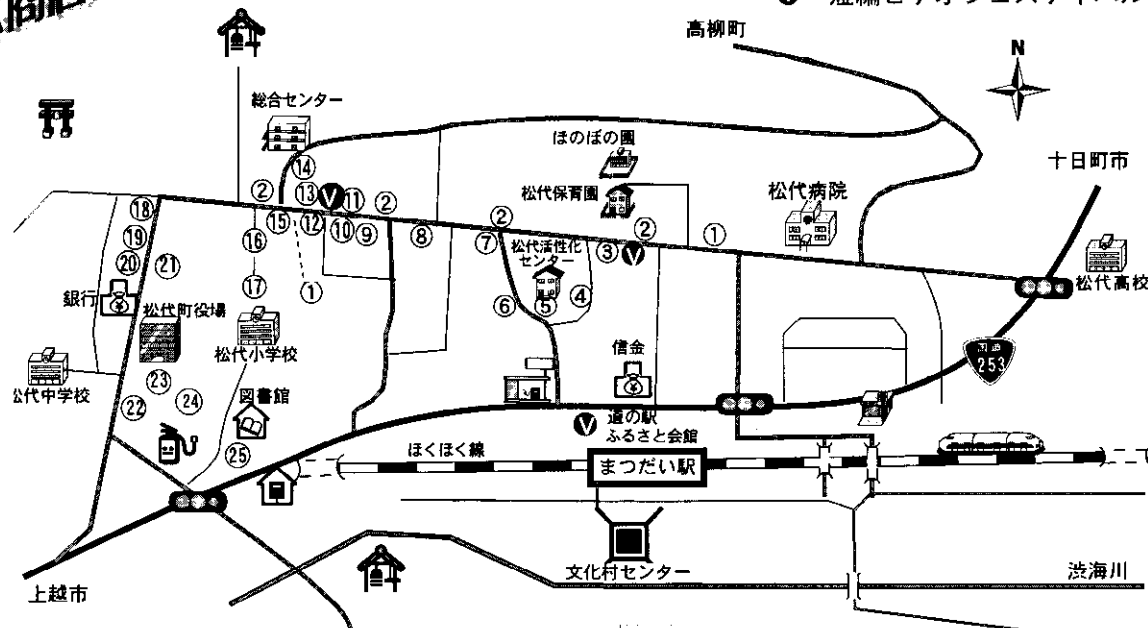
一方で、隊員を支える多くの地域の人たちもいます。そのひとり、関谷忠さん（松代）は、そんなこへび隊の心よりどころ。関谷さん宅に訪れた隊員が菅笠に記したサインの多さが、こへび隊からの信頼の厚さがうかがえます。



多くの隊員が都会育ちとあって、この里山での農耕をテーマにした作品作りに最初は誰も戸惑いを感じたとのこと。しかし、地域の住民と触れ合い、活動を共にすることで、しぜんと農村文化に溶け込んで、作家の作品づくりに欠かせない役割を担っています。そうです。地域と作品とのつながり役になっているのです。

松代商店街エリア 松代商店街活性化プロジェクト

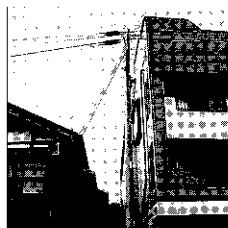
●=短編ビデオフェスティバル上映場所



① 視界

前山 忠〔日本〕

民家と民家の間から見える見慣れた風景を木枠で切り取って眺め見ることで、新鮮な情景を見せる。



⑥ 土男計画〈コーレムプロジェクト〉

京都教育大学・岩村伸一ゼミ〔日本〕

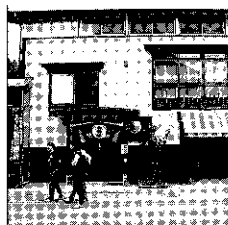
10トンの土を固めて、横たわる人の形をした像が風雨にさらされながら朽ちて土に戻る姿をみる。



② 松代商店街周辺における土壁による修景プロジェクト

村木 薫〔日本〕

松代商店街で手掛ける4作目の作品。土壁による修景で通りに人を誘い、活性化を呼ぶことを目指す。

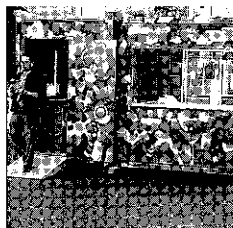


⑦ 無題

〈道草—MICHIKUSA—あるいはメッセージの〈小屋〉〉

大阪教育大学・佐藤賢司ゼミ〔日本〕

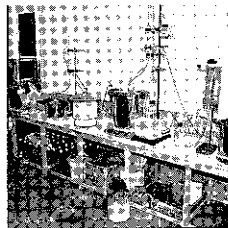
多彩にペイントされた倉庫の中には、便箋と封筒が用意されていて、訪れた人がメッセージを残していきける。



③ アメリカ米万歳

ナイジェル・ヘリヤー〔オーストラリア〕

アメリカ米でアルコール燃料をつくり、耕運機を動かす。輸入米が与える日本の農業への影響を考察していく。



⑧ ドリームポスト

和歌山大学・高木栄一ゼミ/永沼理善ゼミ〔日本〕

架空の郵便局を設営し、欲しいものをはがき書いて投函すると、後日、それに答える品物が届けられる。作品制作にあたるのは…



④ 2003夏、はかなき夢

—環境にやさしい素材によるこころみ—

大阪教育大学・可藤可奈衛ゼミ〔日本〕

真っ白いまゆ玉みたいな梱包用の緩衝材を使い、真夏のかまくらを作る。雪国ならではの作品で、終了後は材料を土に戻すことができる。



⑨ 饒舌な金物店

大阪教育大学・星憲司ゼミ〔日本〕

金物店だった店内にある白塗りの商品に書かれた「コトバ」が、松代の人々の人情や生活の様子を温かく語りかけている。



⑤ 思い出の場所

琉球大学・小林豊〔日本〕+スプリーテイトスゼミ〔ドイツ〕

この地域から都市部に移り住んだ人々の「思い出の場所」を空街で作ったピンホールカメラで撮影し、「思い出センター」に展示する。

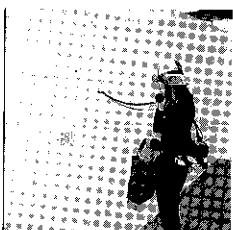




18 お祝い隊

滋賀大学・大嶋彰ゼミ／新関伸也ゼミ／
藤田昌宏ゼミ (日本)

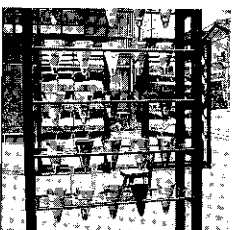
お祝い事に向いて似顔絵を描き、そこでの交流にある、地域の習慣や風習を記録し作品に表現する。



19 「もしもしマツダイヤル」

大阪教育大学・江藤亮ゼミ (日本)

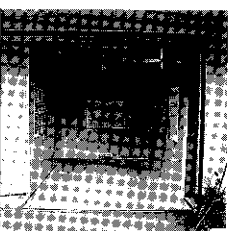
室内の小さな穴に、受話器のコードを指し込むと松代の自然の音や人の話が聞こえてくる。また、メッセージも残せる。



20 松代の光のインスタレーション

島根大学・小谷充ゼミ／石上城行ゼミ (日本)

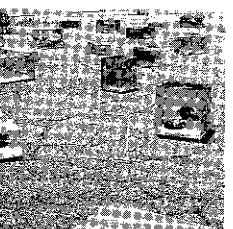
色付のガラスピンと鏡を使い自然光を増幅させ、松代の光が時間とともに移っていく美しさを楽しむ。



21 Veronica 2003 Flower & Family of Echigo in Japan

福島大学・渡邊晃一ゼミ (日本)

町内各家庭を廻り、好きな花の名前を聞いて絵に描いて届け、家に飾ってもらう。



22 封印プロジェクト

鳴門教育大学・野崎窮ゼミ (日本)

町内から集めた古着や道具などをアクリル樹脂のなかに封印し、不安定ではかない物の存在を想起させる作品。



23 器でかわりタイ

上越教育大学・高石次郎ゼミ (日本)

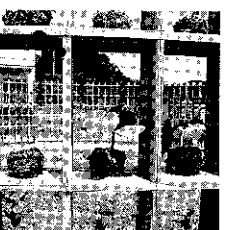
町内の家庭を訪ね、器の注文を受けて作成して届ける。その器を使ってお茶や食事をご馳走になり、交流を広めるプロジェクト。



24 ブルーシート・プロジェクト

神戸大学発達科学部創作系合同ゼミ
(岸本吉弘ゼミ／塚脇淳ゼミ) (日本)

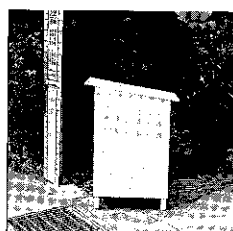
阪神大震災後の復興をイメージするブルーシートの色で部屋を包み、復興の記録をいくつかのスライドで部屋一面に映す。



25 タネネットワーク

新潟大学教育人間学部・郷見ゼミ／佐藤哲夫ゼミ／
丹治嘉彦ゼミ／橋本学ゼミ (日本)

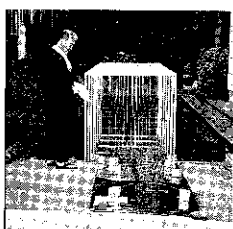
直径10cmの円形の格子棚に、苔球で育てて発芽した種子を並べ、種子をとおした種ネットワークを展開する。



10 廻る音プロジェクト

鳴門教育大学・鈴木久人＋内藤隆ゼミ (日本)

松代商店街に設置されたスピーカー内蔵の作品が松代町の音を流す。



11 50ccの

山形大学美術教育講座・雨宮透ゼミ／
河野令二ゼミ／和田直人ゼミ (日本)

吊るされた色水の入った試験管が、地面に敷かれたステンレス板に揺れながら写り、鑑賞者を揺れ動く世界へ誘う。



12 絵日記の中へ 一夏(懐)休みー

福島大学・新井浩ゼミ (日本)

幼児絵画の特徴を木彫作品に仕上げた作品。人々が心の中に持つ子どもの頃の思い出を呼びさます。



13 試験管プロジェクト

信州大学・藤田英樹ゼミ (日本)

松代中学校の生徒が町への想いや風景などを写真に撮り、そのフィルムを試験管に封入し小屋の内部に配置する。

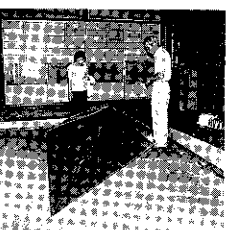


14 松代第一区民会館ワークショップ

～ひとのあいだーばしょ～

上越教育大学・西村俊夫ゼミ (日本)

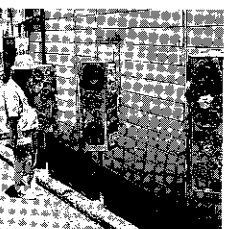
「町を考える」をテーマに松代中学校の生徒とともに区民会館の空き室を改装していく。



15 羽根プロジェクト

信州大学・木村仁ゼミ (日本)

アルミ鋳造製の千羽鶴の一方の羽根を本体から切り離し、対比させて観る作品。羽根に込められた平和への祈りや再生を願うもの。



16 Cray Approach

—私がこの道を歩いていたという記憶—

鳴門教育大学・井戸川豊＋谷口幹也ゼミ (日本)

松代の田んぼから採取した土を原料に、松代小学校の児童が大切な思い出を刻んだ陶板が登校する児童を見守る。



17 今、風景の中に 一うつろいー

瀬戸川満里子 (日本)

松代小学校の通学路に吊るされた蚊帳状の四面には、家紋と山野草を題材にした作品が描かれ、夏風にゆれる。

連載

かまぼこ型倉庫再発見7(美術家・小沢剛)

かまぼこ型倉庫は、完璧な形だ。いっさいの無駄がなく、誰にも媚びてはいない。だから美しい。



フジTVアナウンサー阿部知代さんのインタビューを受ける小沢さん

質「なぜ、かまぼこ型倉庫なのか？」

畠「あの建物は、豪雪に耐え、除雪の心配もいらない形で、交通のこと農業のこと全てがこれに象徴されています。新しい町のシンボルとして考え

られるのでは、と私は提案しているのです。町の人にはあまりにも身近すぎるものかもしれないませんが、今回の芸術祭では実に4人もの作家が同じ物を作品に引用しています。それだけ外部から見ると特別なもののなのです。」

質「なぜそれぞれ大きさが違うのか？」

畠「普段見慣れているものを極端に小さく見せることで、ユーモラスに見えたり、かわいらしく見えたりします。このヒントはロシアのマトリョーシカ(民芸品の人形)やエジプトの美術から来ています。設

営の時に、たまたま通りがかったお爺さんが、「おやおや、孫が喜びそうなものをこしらえて!」と言われたときは嬉しかったですね。また、冬に雪が積もった形も予測しています。積雪量に応じて面白い形を描くことでしよう。せっかく豪雪地帯なので、雪も作品の一部に入れない手は無いと思ったわけです。」

質「倉庫の中身は何なのか？」

畠「これらは、貸倉庫で松代の人たちに一年限定の無料で貸し出しています。いま入っているのは、今回の制作に関係した人たちが中心です。人にのぞかれることを前提とした倉庫(全ての扉に小さな覗き穴があります)、小さすぎて非常に使えない倉庫、そのような遊び心こそ芸術の神髄と思っています。倉庫の貸し出しに関して一年後は広く公募しようと思っています。入れるものに関しては特に制限はしていません。ただ、生き物や、腐りやすいものだけは勘弁してもらっています。いずれこの広報に情報を載せます。」

大地の芸術祭の情報やこへび隊の活動の様子などをこまめに伝える

「明後日新聞」

旧荻平小学校に本社を構える「明後日新聞社」。あしたのそのつぎに思いを描きながら「まだ見えないけど、なんとなく見えるかな、を大切にする」などの社訓とも言うべき基本理念に従って活動を繰り広げている。

助教授)をはじめ、約十五名のこへび隊スタッフで制作にあたり、町の内外を問わずあちこちへと取材にまわっている。独特の切り口で紙面を覆い、芸術祭のおもしろさを増幅させている、会期中必読の情報誌だ。

明後日新聞社文化事業部の活動は多岐に渡っていて、ほぼ毎日発行される「明後日新聞」のほか、会期中に行われる四回のワークショップ。そして、サッカー大会などだ。

明後日新聞は、文化村センター南口のこへびステーションのほか、ふるさと会館内の「まづだいトリエンナレセンタ」などで販売しています。一紙30円。

新聞編集のこへび隊



「松代町の空は青く澄んでいて、とても高く感じました。その空を思いながら歌います。」

7月20日から3泊4日の日程で田舎体験に訪れた六本木中学校2年生68名。ホームステイする宿泊先の家族などを招き、お世話になる感謝の気持ちを込めて、校歌をはじめ15曲を合唱しました。



7月20日、ふるさと会館で行われた合唱発表会



越後田舎体験

東京都港区立六本木中学校 合唱発表会

夏休みの宿題の参考になったかな 早稲田大学ユニラブ

7月30日～31日

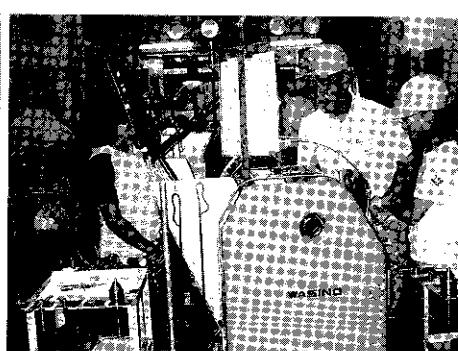
松代町三小学校の5年生児童26人が早稲田大学理工学部において科学実験講座を体験しました。児童は、大学が開催する26講座の中から、コンピューター・工作技術や化学実験などそれぞれ希望する9項目の実験講座に分かれて、講師や大学生から専門的な指導を受けました。



コンピューターで音と音楽を作ろう



ペットボトルで地球にやさしいポンプを作る



金属を削ってペンダントを作ろう



長編アニメーション映画

良寛さん

良寛さん
遊びましょ!

松代町上映会 8月23日(土)
ふるさと会館 ①15:00②18:30
前売券: 一般 1,200円(当日1,500円)
4歳～高校生800円(当日1,000円)
主催: 松代町商工会青年部
まつだい雪割はなカード会

入場無料

展覧会「そらのかつこう 2003」

画家よしだ・ゆうさんの作品展が開催されます

どこか見覚えのある空に魅惑のイマジネーションが広がる。そんな幻想の世界に心が癒されます。

よしださんがここ一年間で描きあげた、青空をイメージした作品約20点のほか、陶芸教室の受講生のみなさんの作品も展示します。

(大地の芸術祭パスポート持参の方に紙芝居をします)

開催日時: 8月27日(水)～9月7日(日) 10時～17時

開催会場: 旧蒲生小学校校舎(蒲生 早大セミナーハウス隣)

協賛: 大地の芸術祭・花の道実行委員会

新市の名称案選定小委員会設置—10月に名称案の一般公募—

新市の新たな名称選定に向け小委員会が設置されました。

今回の十日町圏域五市町村の枠組みでの合併は、当初から新設合併を前提に協議がなされてきています。新市の名称は今までの市町村が培った歴史や文化のイメージを薄れさせかねない重要な案件でもあります。

今後、住民の皆さんからの公募をもとにいくつか選定され、年明け以降の法定協議会で決定されます。

第7回十日町広域圏 合併任意協議会

開催日 7月24日(木)
会場 十日町市 クロス10

議案1
新市の名称案選定小委員
会の設置について

新市の名称案を、公募の中からいくつか選定する委員として、任意協議会委員の中から市町村長と各市町村委員のうち一名を選任し、計十名で構成する小委員会を設置した。

構成員
(敬称略)

第1号委員

- ・滝沢 信一(十日町市長)
- ・田口 直人(川西町長)
- ・山本 茂穂(中里町長)
- ・関谷 達治(松代町長)
- ・佐藤 利幸(松之山町長)

第3号委員

- ・樋口 誠(十日町市)
- ・押木 篤美(川西町)
- ・貝沢 洋次(中里村)
- ・高橋 芳平(松代町)
- ・相沢 亨(松之山町)

(委員長) 関谷達治
(副委員長) 押木篤美

名称案の選定

10月に名称案の一般公募を行い、11月末をめどに新市の名称の複数案を選定する。

議案2
新市建設計画の策定方針
について

新市建設計画は、合併による新市づくりが効果的に行われ、地域の均衡ある発展のなかに住民の福祉向上が図られるよう配慮されなければなりません。

現在、話し合いを進めている新市の将来構想検討は、この新市建設計画を策定するための素案づくりであり合併後の新市のあり方に大きく関わりをもつてきます。

第8回十日町広域圏合併 任意協議会開催のお知らせ

日時：9月2日(金)午後1時30分～

会場：川西町 総合センター

〈議案〉

- ・十日町広域新市将来構想答申
- ・事務事業協議について
(税務関係、学校・社会教育関係)
- ・事務事業調整結果の報告

など

松代町市町村合併審議会

任意協議会で、合併に向けた重要案件が協議するなか、松代町内での意見をまとめ、協議会に提議するため「松代町市町村合併審議会」が開催されています。

各方面から幅広い声を聞くことで、かたよりのない意見を協議に反映させています。



7月23日開催の審議会。ここでも白熱した意見が交わされる

新市建設計画とは

計画期間

新市の平成17年度～平成26年度までの10年間の計画

策定方針

新市将来構想検討委員会が答申する将来構想に基づき、現在の各市町村の総合計画や県計画を踏まえて策定する。

策定の視点

①財政運営に裏付けられた合理的で健全な計画とする。
(合併特例債を財源にする)

計画の決定

合併前の法定協議会で決定するが、合併後、新市の市長のもとに総合計画を策定する。

事業は建設計画に盛り込まなければならない。

②旧市町村意識の解消とともに一体性が確保され、地域間の不公平感に配慮されなければならない。

③地域住民の多様な要望に配慮しながら、組織の合理化をめざす。

議案3 事務事業の協議について

(決)は議案の決定内容

(1)財政・管財関係

- ①財産および債務の取扱い
- 決旧市町村で保有する財産や債務は新市に引継ぐ
- ②基金の取扱い
- 決・各市町村が保有する基金は、新市において一本化した管理とする。

- ・各市町村が地域振興計画等に基づいて独自に積み立てた特定目的基金等は、類似する目的に再編成する。
- ・基金の管理・運用・処分は、その基金の設置目的、経緯等を反映させた新市建設計画、総合計画などに添って行うことを基本とする。

(2)母子児童福祉関係事業

- ①保育料の軽減率
- 決当分の間は旧市町村の軽減率のままとし、5年後をめどに見直しを検討する。

(3)地域福祉関係事業

- ①各種祝金(結婚、出産)制度
- 決出産祝金は、第三子以上に一子につき5万円を支給する。結婚祝金は廃止する。

(4)高齢福祉関係事業

- ①配食サービス等
- 決週5日を限度に継続するが、配色のみ事業は国の補助規定の改正により新市で負担額等の検討を行う。

(5)建設関係事業

- ①道路工事分担金
- 決いままでどおり徴収しない。

(6)高齢者等生活支援

- 決・外出支援サービスの車両貸し出しは継続する。
- ・福祉タクシー(タクシー券交付)は要介護度3以上を対象に実施する。
- ・訪問理容サービスは、要介護度3以上を対象に出張料として一回2千円、年2回を限度に実施する。
- ・心配ごと相談は廃止する。

(7)任意協議会意見メモ

保育料の軽減率について
前回の任意協議会で「地域事情の異なる市町村間で、何もかも一律的に制度を同じにするのは異論がある」との意見があり、差し戻しとなった案件が「保育サービスを改善しつつ、当分の間現行のままとする」に差し替え提議されたが、期限の曖昧さから「合併後5年後をめどに見直し検討をする」に改められ可決された。

任意協議会意見メモ
「基金は、現在の各市町村が将来のために積み増した財産であり、それぞれの事情により金額の多寡がある。地域自治組織(旧市町村単位)で別々に使えるようにしたらかうか。」という意見もあるなか、「新市としての一体感を早く達成するため一本化した管理にすべきだ。新市建設計画のなかで旧市町村の事情を考慮して、基金を生かした事業の組み入れをすればいい。」という山本会長の提言に、意見はまとまった。

- ②老人クラブ助成金
- 決地区の老人クラブに、会員数割として一人あたり750円、老人クラブ連合会に対しては一人あたり2500円を支給する。
- ③敬老会の形式
- 決敬老会へは助成形式とし、75歳以上を対象に一人あたり1400円を助成する。
- ④高齢者福祉単独事業
- 決満88歳に1万円、満100歳に10万円を贈る。その他は廃止する。

- ④土地開発公社
- 決東頸城土地開発公社から脱退し十日町地域土地開発公社に加入する。



熱気あふれる高齢者スポーツ大会(7月15日 総合体育館)

任意協議会意見メモ

保育料の軽減率について
前回の任意協議会で「地域事情の異なる市町村間で、何もかも一律的に制度を同じにするのは異論がある」との意見があり、差し戻しとなった案件が「保育サービスを改善しつつ、当分の間現行のままとする」に差し替え提議されたが、期限の曖昧さから「合併後5年後をめどに見直し検討をする」に改められ可決された。

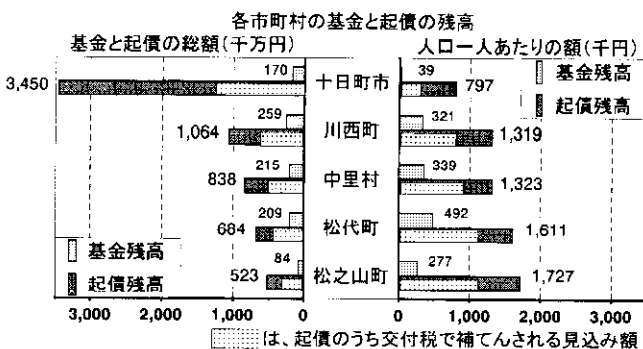
各市町村の保育料軽減率

(3才未満児、最高額)

市町村名	徴収基準額	市町村の徴収額	軽減率
松代町	80,000円	34,000円	57.5%
十日町市	80,000円	45,000円	43.8%
川西町	80,000円	54,720円	31.6%
中里村	80,000円	49,600円	38.0%
松之山町	80,000円	34,000円	57.5%

現在、各市町村が持つ基金の取扱について

「基金は、現在の各市町村が将来のために積み増した財産であり、それぞれの事情により金額の多寡がある。地域自治組織(旧市町村単位)で別々に使えるようにしたらかうか。」という意見もあるなか、「新市としての一体感を早く達成するため一本化した管理にすべきだ。新市建設計画のなかで旧市町村の事情を考慮して、基金を生かした事業の組み入れをすればいい。」という山本会長の提言に、意見はまとまった。





体験ツアーを終えて

梅雨時の空は神まかせ。

28日夜は天気にも恵まれ、緑の尾を引いて飛ぶゲンジボタルを満喫。田舎で育った大人も驚くホタルの数だ。

「ちまきづくり」は、難しい結び方をみんながクリアーして、家族へのよい土産ができた。新設の紙工房では、子どもたちが紙すきに楽しく挑戦した。

完成近い雪国農耕文化村センターを案内していただく。内部の一つひとつの部屋は、その機能を生かした芸術作品となっている。奇抜なアイデアに感嘆の声。

29日は雨で、松茸山へのハイクは中止する。郷土資料館の見学と芝峠の温泉・駅前の朝市(愛の風)を楽しむ。松代のよさを改めて発見できた2日間だった。子どもたちには、遊ぶ時間が足りなかったという思いは残る。地元の方のご好意を心から感謝したい。

(実行委員長 池田 正)

参加した子どもたちの声

今年は、雨がふってなかったで、去年よりホタルがたくさんいてきれいでした。ぼくは、たくさんさんのホタルをみました。また、ホタルをみにいきたいです。らいねんは、クワガタとかカエルとかもつかまえてみたいです。

(砂見 祐哉 小4)

「ゲンジボタルが飛び交う

ふるさとの夜陰」

東京松代会第二回ふるさと体験ツアー
「ホタル観賞とふるさと体験」



ぼくは、自然の中で自由に飛びまわるホタルをみたのは初めてでした。

想像していたよりもホタルがたくさんいてびっくりしました。

観察の前に先生からホタルの話を聞くことができました。とても勉強になりました。郷土資料館では、昔のくらしの知恵がすばらしいと思いました。



ちまきづくりを習う子どもたち

学校で習った縄文土器や勾玉がみられて感動しました。

ほかに、餅つきや和紙づくりなど楽しい企画を考えていたいただきありがとうございます。

(福原 奨人 小6)



伊沢和紙工房でトロロアオイのネバリに驚く

私は、このツアーにはじめて参加したのですが、いちばん印象に残ったのはホタルです。ホタルがたくさんいて、ホタルの楽園みたいでした。

(中野 明子 小5)

東京だより

松代小学校版「ようこそ!先輩」で、関谷文平氏が絵の具作り指導
「野・山・川を探検して」

何かを見つけて 何かを作ってみよう」

この松代小学校の6年生夏休み中のテーマに東京松代会・関谷孝さんの実兄関谷文平氏(クレヨン、絵の具等画材の研究で米国に知られている技術者)が8月25日(月)・26日(火)の2日間、松代小学校において野山でワラビの根っこを採取して、絵の具を作る指導をされます。

◆ゴルフの会ご案内	
日時	9月7日(日)8日(月)
場所	白河高原CC
申込 幹事	鈴木彦平
TEL	049-243-0981
◆ハゼ釣り大会ご案内	
日時	9月21日(日)8時
場所	浦安・吉野屋
申込 幹事	宮澤長三
TEL	048-285-4528
◆秋の高尾山ハイキング	
日時	10月26日(日)9時
京王線高尾山口駅集合	
申込 幹事	柳 信輔
TEL	03-3696-0271

室野の『清水屋酒店』の村山寿平次さんから「くそうずつ原」の堤（つみ）の灌漑用の用水池にカイツブリの浮き巣があるという情報を得て、梅雨空の中、雨がこやみになった七月十三日の午前に走って行ってみました。早稲田大学の車運転練習場のある『臭水つ原の

カイツブリの浮き巣



グラウンド』から一直線のコンクリート舗装農道を登って、頂上にある堤です。

かなりの広い水面を誇るもので、灌漑用の水を満々と湛えていました。周囲はビニールシートを敷設し、ロープで囲ってある近代的な堤で、竹所生まれの妻は『鍛冶屋のツツミ』と呼んでいました。

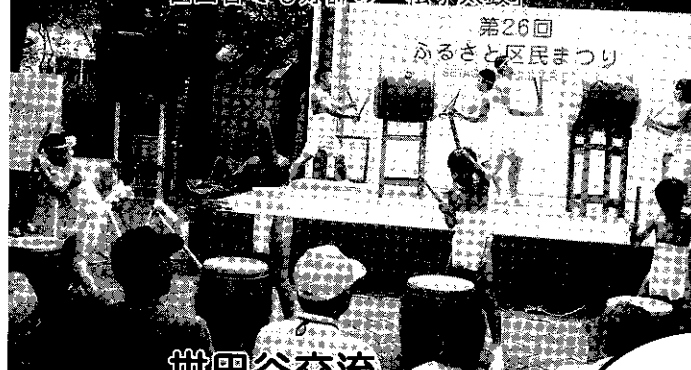
バイクの音に気付いたのか、南側の岸の近くに浮いていた巣の上からスリと雌らしい鳥影が水中に滑り降りるのが一瞬見えました。別の雄らしいのが北岸に浮いていて、それは遠くから撮影できたのですが、こちらは巣だけ撮影して帰りました。

まわりの雑木林からはキビタキの美声が響き渡り、上空をカルガモのペアが飛び、アオサギが一羽悠然と通り過ぎました。池の中には食虫植物のタヌキモらしいものが一面に浮いていました。

カイツブリはカイツブリ科の鳩ぐらいの小さな水鳥で飛翔は得意でなく、水面を滑走する程度で「ケレケレルルル」と鳴きます。枯れた草や水草を積み上げて浮き巣を造りますが、それを鳩（にお）といひます。

『鳩』はカイツブリの古名と『新撰字鏡』にあるとのこと。琵琶湖を『鳩の海』といひますので、カイツブリの浮き巣が多くみられることからでしょうか。その巣の形から堆肥や薪を積んだものや大根を藁で囲ったもの、茅を刈って巻いたものをニオと呼びますが、これとの関連からでしょうか？
(文・高橋八十八、写真・関谷八郎氏)

世田谷でも好評の『松宗太鼓』



世田谷交流
世田谷ふるさと区民まつり
8月1日～3日

グラウンドの一角に植えたジャガイモは今年も豊作



田沢・菅刈・八王子交流
自然体験教室
7月18日～21日
(旧菅刈分校)

交流
ひろば



夏野菜を求める人でにぎわう松代物産店



キャンプファイヤーを囲んで、自然の恵みに感謝のひとつき

8月25日スタート

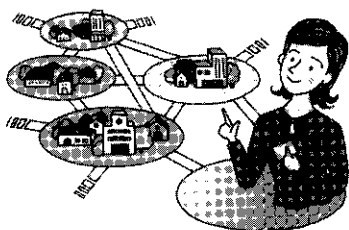
さらに便利になる住基ネットシステム

戸籍窓口 3つのサービスのご案内

- 1 どここの市町村でも住民票の写しが受け取れます
- 2 住民基本台帳カードの交付
- 3 転入転出手続の簡素化

1 どここの市町村でも住民票の写しが受け取れます

自分や自分の世帯員の住民票の写しであれば、全国どこの市区町村でも交付を受けられるようになります。

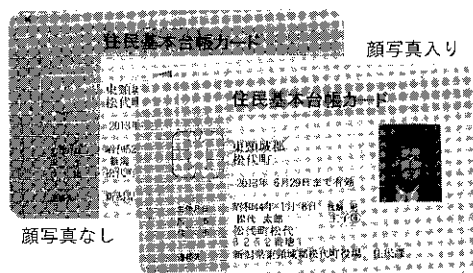


交付にあたっては、住民基本台帳カードと顔写真が入った公の証明書(運転免許証やパスポート、身体障害者手帳など)が必要です。

また、住民登録地以外で発行した住民票の写しには、本籍・筆頭者の戸籍の証明はされません。戸籍の証明が必要な場合には、住民登録地の市区町村で戸籍表示を承略していない住民票の写しの交付を受けてください。

2 住民基本台帳カードの交付

8月25日より、希望される方に住民基本台帳カード(「住基カード」といいます)を交付します。



※顔写真入りのカードと顔写真なしのカードのどちらかを選べます。

交付手数料：500円

有効期間：10年(または松代町を転出するまでのどちらか短い期間)

用意するもの：①本人確認ができるもの。

(運転免許証・パスポートなど)

②顔写真入りカードを希望する場合は、6ヶ月以内撮影の顔写真。

(無帽、正面、無背景。大きさ縦4.5cm×横3.5cm)

3 転入転出手続の簡素化

住基カードの交付を受けている人は、転入届をするだけで「転出証明書」がなくても転入転出手続ができます。

ただし、転出する前か転出後14日以内に転出する市町村に届くように、転出届(付記転出届)を郵送しなければなりません。

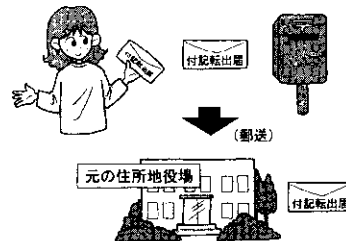
〈ご注意〉

次の場合には、従来の方法によりあらためて転出手続きをしていただくことがあります。

- ①付記転出届に誤りがあった場合
- ②住基カードの交付を受けていない方が付記転出届を行った場合
- ③転出後14日を過ぎてから付記転出届が届いた場合

住基ネットを使った転出手続き

①元の住所地の役場に付記転出届を送る



②新しい住所地役場で転入手続きをする



問い合わせ 松代町役場住民課戸籍住民係

7-2220

走ろう会からマラソン大会参加のお知らせ

新井コシヒカリマラソンであなたも
健脚を競ってみませんか。

日時：10月12日(日)役場前 6時30分集合

会場：新井市総合公園

種目：①一般ハーフマラソン

(男女別)②小学1・2年 2km

③小学3・4年 3km

④小学5・6年 3km

⑤中学・高校・一般 5km

⑥カメさん 2km(どなたでも可)

その他：①費用は1,000円(バス代及び保険料)のほか参加料が必要です。(参加料：ハーフ 3,000円/一般2,000円/高校生以下及びカメさん参加1,000円)

②小学3年以下は保護者同伴とします。

問い合わせと申し込み(しめきり9月5日(金))

走ろう会事務局 山岸(Tel 7-2931)



優勝 蒲生Aチーム
2位 松代Cチーム
3位 北山チーム

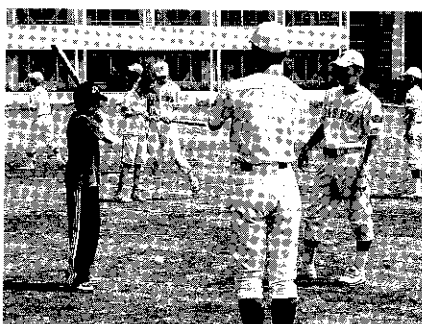
優勝 松代C(松代町)
2位 川手A(松之山町)
3位 山桜(大島村)
松代郵便局親善ゲートボール大会(8月2日/松代町民グラウンド)

第6回JA十日町年金友の会ゲートボール地区大会(7月29日/松代町民グラウンド)
優勝 球友B(松之山町)
2位 犬伏A(松代町)
3位 上川手A(松之山町)
(このほかに松代町から蒲生A、小荒戸、犬伏Bチームが川西町での決勝に進出)
第17回東頸城郡ゲートボール選手権大会(8月1日/松之山町民グラウンド)

早稲田大学 本庄高等学院 野球部

松代町少年野球チームに実技指導

8月2日から四日間、松亭ドミニトリへ夏期合宿に訪れていた本庄高等学院(埼玉県本庄市)野球部々員23名が、松代町少年野球チームとともに交流練習を行った。



バッティングの指導を受ける少年たち

各種大会の結果

ゲートボール

「温かく見守ってくれた松代町のみなさん、ありがとうございます。感謝の言葉とたくさんのお返しを残し、イバさんはカナダへ帰っていった。」

学校での授業のかたわら、地域とのふれあいも広がったイバさんは、手書きのイラストとその英単語を書き添えたカードを用意して、保育園でいっしょに歌ったり、週一回の一般者を対象にした英会話教室の講師も務めていた。

ハンガリー生まれのイバさんは、カナダに移り住んだ13歳のときに英語を習得。だから、子供たちの学ぶ気持ちがよくわかる。「いつも、子供たちは教わった英語と身振り手振りで話し掛けてくれました」その表情がとてもうれしかったという。

「楽しい英語をありがとう」。奴奈川小学校でのお別れ会で、児童たちは一人ひとりが寂しげに手づくりのレイをイバ・トゥースさんに贈った。

ありがとう イバ・トゥースさん



文芸

短歌

庭池に泳ぐ尺余の錦鯉浮餌に群れるを眺むるはよし
 音消えてドア式の木戸スツとしまる今年も梅雨の到来を知る
 市川辰雄
 あじさいの葉に居る子蛙尾のあれば露にすべりて葉かげに隠る
 笠原トミ
 壊れたる人形を捨つ扱いに命粗末にさるる世情か
 柳こめ
 道端の小草に混じる振花の螺旋の妙に咲けるいとしさ
 野石念

蒲生句会

病窓に羽をやすめる鬼やん
 ま 折人
 耳鳴りと重なってきし蟬し
 耕人
 灯を消して籠の螢を確かめる
 山路
 湧水で喉をうるおす炎天下
 良治
 万緑を吸い込むように深呼吸
 翔山
 境界に伏せ石一つねぢり花
 耕山
 じつとりと肌にからまる梅
 朴雪
 雨時雨
 話声大向日葵の向う側
 鐵堂
 天井にいつもの木目団扇風
 龍峰

しぶみ俳句会

庭の隅都忘れが一人占め
 八千代
 振花振れ始めて咲上る
 紅茶
 耳遠く端居を好む日々とな
 六花
 り
 虚子庵の畳にもある梅雨湿
 淡水
 り
 子等の手にしろつめ草の首飾り
 とし子
 焚きくれし藤村旧居の夏炉
 枯水
 かな
 転作の立札の田の蕎麦の花
 公鳴

お知らせ

第6回十日町刑務所作業製品展示即売会

日時：9月20日(土)午前10時～午後4時
 21日(日)午前10時～午後3時
 場所：十日町市 クロス10

催事内容：①刑務所作業製品展示即売
 家具、革製品、金属製品、
 木彫製品、その他多数。
 ②矯正施設の紹介
 問い合わせ：新潟刑務所企画部門
 (TEL025-286-5626)

上越少年サポートセンターを開設しました ～新潟県警察～

子どもの非行や問題行動などに関する悩み、困りごとを電話や面接で受けています。

お気軽にご利用ください。
 電話番号：025-526-4970
 場所：上越市西城町1-3-25
 第1中央ビル 3階
 開設時間：月～金曜日
 午前8時30分～午後5時15分



昨年郡展賞を受賞した瀬沼伸彦さん(松代)の作品「父と子」

第22回東頸城郡美術展覧会作品募集

- 【日時】10月11日(土)～13日(月) 午前9時～午後6時
 - 【会場】牧村村民体育館
 - 【作品】絵画、彫塑・工芸、書道、写真の4部門
 出品数は1部門一人3点以内
 - 【出品資格】東頸城郡内に住所登録または、勤務する高校生以上の人
 - 【作品提出】10月2日(木)～3日(金)までに公民館へ
- 詳細は事務局 松代町公民館 TEL 7-2301まで

人口の動き

男	2,044人	(-9人)
女	2,190人	(+1人)
計	4,234人	(-8人)
世帯数	1,483世帯	(-5世帯)
出生	4人	死亡 5人
転入	1人	転出 8人
(15年7月末日現在)		

中澤 作市さん (木和田原・かじや)	山岸ヒサエさん (東山・ゆきふた)	関谷 伊市さん (松代・さわ)	村山宇三郎さん (室野・みどりや)	品田儀一郎さん (松代・ハマダヤ)	ご冥福を祈ります(死亡)	柳 賢徳さん (太平・こびき)	佐々木蒼平さん (室野・駐在所)	元氣な良い子に(出生)	佐藤 玲有さん (蒲生・せんだや)
72歳	66歳	77歳	85歳	77歳					

(7月1日～7月31日)



町の行事予定（８・９月）

8/21(木)	松代町教育長争奪ゲートボール大会 町民グランド
22(金)	心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～ ほくほく線親善ゲートボール大会(六日町)
23(土)	処暑
24(日)	わくわくチャレンジクラブ「川の観察会」中里村
25(月)	第54回新潟県消防大会(湯沢町)
26(火)	東頸城郡高齢者スポーツ大会 総合体育館 松寿大学「松代病院布施院長による公開講座」ほか 8:40～
27(水)	
28(木)	第10回新市将来構想検討委員会(松之山町)
29(金)	心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～ 知事と語るむらおこし・まちづくり(浦川原村)
30(土)	
31(日)	
9/1(月)	防災の日
2(火)	第8回合併任意協議会(川西町総合センター)
3(水)	
4(木)	
5(金)	心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～ 三種・二種混合予防接種 松代小学校 13:30～
6(土)	
7(日)	大地の芸術祭 閉会式 文化村センター
8(月)	わくわくチャレンジクラブ「星座観察」室野早稲田自動車教習所 白露
9(火)	
10(水)	
11(木)	すくすく教室「小林寺下公園で遊びましょう」9:00～
12(金)	心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～
13(土)	わくわくチャレンジクラブ「とうふ作り」松之山町
14(日)	消防ひろば 役場駐車場 10:00～14:00
15(月)	ほくほくの里 敬老会 敬老の日
16(火)	松代町定例議会(18日まで)
17(水)	
18(木)	
19(金)	第9回合併任意協議会(松代町総合センター) 心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～
20(土)	

編集後記

▼大地の芸術祭もはじまり連日の暑さのなか、多くの人が作品の鑑賞に訪れている。出足まずまずといったところだろうか。農業・農村を概念に展開されている当町の作品群、取材をとおして作者と話をしてみれば、なるほど作品のどこかにそのメッセージが隠れている。多忙な作家と話ができるとはなんと幸運なことだろう。

▼「生命産業」とも言われる農業とこの農業が営まれている農村は、社会が変化を遂げる中にある。また様々な厳しい問題を抱えている中においても、今後とも発展しながら次世代へ受け継いでいかなければならない。それは、現在の我々一人ひとりの使命でもある。農村は、自然と真にふれあうことのできる場である。今後、社会は情報通信や交通網の整備が一層進み、それぞれの人のライフスタイルに応じて、「農」を暮らしの中に多様にかつ手軽に組み入れられることだろう。農村は産業の基盤として、あるいは生活の場としてだけでなく、私たちの暮らしや人生を充実させる場として、その意義は益々高まっていく。いまさらだが、もはや農村は、単に「都市化が進んでいない」地域でもなければ、時代から取り残された空間でもない。人の軌跡を思うノスタルジックな空間のある、未来に向けて開かれた一つの憧れの場であるような気がする。(6)

お知らせ

「知事と語るむらおこし・まちづくり」開催のお知らせ

「新しい中山間地域の生き方を考える」をテーマに、地域の各分野で活躍する人たちと知事が意見交換をします。

パネラーと知事による意見交換や一般参加者からの質問にも答えます。この機会にぜひご参加ください。

期 日：8月29日(金)午後1時30分～午後4時

会 場：浦川原村中央公民館（3階 講堂）

パネラー：東頸城郡内各町村から1名 計6名

参加申込み：入場無料。

8月25日までに事前申し込をしてください。

申込み（問い合わせ）先

新潟県安塚地区振興事務所 地域振興課

TEL：02559-2-3851

FAX：02559-2-3659

E-mail：u02202a1@mail.pref.niigata.jp

安塚警察署「御意見箱」をご利用ください

安塚警察署では、豊かな自然と人情豊かな東頸城を犯罪や事故から守るため、皆さんの意見を防犯活動に役立てています。

警察へのご意見や要望、また犯罪・事故への情報などありましたら、「御意見箱」にご投函ください。

なお、犯罪被害や事故にあわれたり、日撃された場合には直ちに「110番」または「安塚警察署 02559-2-0110」に通報してください。

（御意見箱は、役場2階窓口設置してあります）



「御意見箱」を設置する
横川孝生松代交番所長

森林整備講習会のお知らせ

間伐や枝打ち、チェーンソーの取り扱いについての講習のほか、現地実習も予定しています。

大勢の皆さんの参加をお待ちしています。

日 時：9月9日(火) 午前9時～正午

会 場：ふるさと会館 二階常春ホール

内 容：①間伐と枝打ち作業について（現地実習あり）

②チェーンソーの目立てとその方法

携行品：作業服、長靴、軍手、保護帽など山での作業に適した服装で参加してください。また、チェーンソーを持っている方は持参してください。

問合せ：松代町役場農林課 山岸（TEL 7-2220）

上越林業事務所林業振興課 熊倉（TEL 025-526-9466）



【休館日】
毎週 月曜日・祝祭日
8月15・16日は、お盆休み
【開館時間】
毎週 火～金 13:00～18:00
土・日 10:00～17:00

【電話】 7-2615
【ホームページアドレス】
<http://www.9.ocn.ne.jp/~m-tosho/>
【メールアドレス】
m-tosyo@beach.ocn.ne.jp

◆ 新しい本の紹介 ◆

*** 一般 ***

エ・アロール	渡辺 淳一
約束の冬(上・下)	宮本 輝
ふたたびの恋	野沢 尚
夢は荒れ地を	舟戸 与一
ザ・ファイナル・オプション	落合 信彦
上意討ち始末 子連れ侍平十郎	鳥羽 亮
中学生・高校生の	
生活と意識調査	NHK出版
カビと健康の常識・非常識	井上真由美
やめる禁煙、治す禁煙	蘭 はじめ
はじめての和菓子	林 幸子
SARSの衝撃	勸堂 流

*** えほん・じどう ***

良寛さん	国保 徳丸
ねむれないひつじのよる	きたむらさとし
いたずら王子	パートラム・A・ローベル
ど・ん・ま・い	青山 季市
ズッコケ魔の異郷伝説	那須 正幹
鬼の話	はまみつを
鏡のなかの迷宮、1	K・マイヤー
天と地を測った男 伊能忠敬	岡崎 英尊
うまいぞ! 料理人	くさばよしみ

みなさん、楽しい夏休みを過ごしている事と思いますが、宿題は進んでいますか? 読書や調べ学習に図書館をご利用ください。

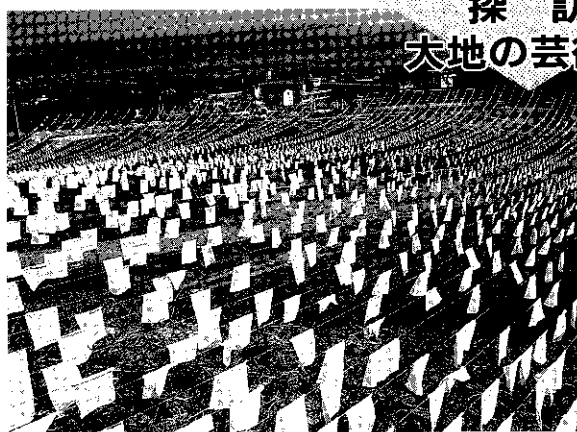
エ・アロール

渡辺 純一 著

「エ・アロール」とは、フランス語で「それがどうした」という意味です。東京・銀座にある、おしゃれな老人ホームを舞台に、華やかに恋をして自由に生きる人たちの姿が描かれています。高齢者の生き方や考え方が変わるかもしれません。
(角川書店発行四六版四二三頁)

探訪 大地の芸術祭

川西町ナカゴグリーンパーク
ホワイトプロジェクト(作者 新田和成「日本」)



川西町の国道252号線から北側に入った元町地内にナカゴグリーンパークはある。約20ha程の園内にはパターゴルフ場や芝生広場などがあり休日には家族連れで賑わう。3年前の大地の芸術祭でも好評を博した「光の館(作Ⅱジェームズ・タレル)やギリシャ宮殿を印象づける「レイチェル・カーソンに捧ぐる4つの小さな物語(作Ⅱ藤原吉志子)など数々の印象深い作品が現在も建ち並んでいる。

この公園の一角、野球場を利用して「ホワイトプロジェクト」は展開されている。「光の館」に向う



制作協力に携わる小荒戸集落のみなさん

小高い丘の上から、71本の釣り糸に連ねた20cm角の白い布が、傾斜に添って放射状に広がる。

このプロジェクトは昨年に広島平和公園から始まり、あらゆる戦争犠牲者への慰霊と平和への願いを、凶柄の刺しゅうや絵で表し、白い布に託している。そして、子どもからお年寄りまでたくさんの人たちが布を持ち寄りつなぎ合わせることで願いを共有させている。集められた布の数12,225枚。松代町からも約900枚が協力出展されている。

夏の青く澄んだ空に映え、河岸段丘から吹き上げる風に揺れる布の白さが心地よく眩いのが印象的な作品だ。